



多くの見物人を楽しませた「海中みこし」

TOPIC 4 3年ぶりの海中みこし勇壮

7/24 厳島神社例大祭「海中みこし」

白糠厳島神社（進藤卓嗣宮司）例大祭最終日の24日、海の安全操業と五穀豊穡を祈願する「海中みこし」が、白糠漁港の前浜で3年ぶりに行われました。

白装束に身を包んだ「白丁」と呼ばれる約40人の担ぎ手が「わっしょい、わっしょい」と威勢の良い掛け声とともに力強いみこしさばきで、何度も海中を練り歩きました。新型コロナウイルス感染症の影響で2年間中止となっていた「海中みこし」ですが、今年は勇壮な姿を披露し、多くの見物人を楽しませていました。

TOPIC 1 中田君、小田さん最優秀賞

7/20 第44回「少年の主張」表彰式

令和4年度「少年の主張」表彰式が役場で行われ、小学生部門で中田匠君（茶路小6年）が、中学生部門で小田花佳さん（白糠中3年）が、それぞれ最優秀賞に選ばれ、川島眞澄教育長から表彰されました。

中田君は『ぼくのふるさと白糠』と題し、人口減少対策について「名産品などを取り扱う店舗を作り、観光客を誘致すべき」と主張。小田さんは『人を理解すること』と題し、いろいろな考えがあるからこそ新しい発見があり、人生が豊かになると主張しました。



表彰状と盾を手に笑顔の中田君（左）と小田さん（右）

TOPIC 5 代表標語は白糠小5年 田中杏奈さん

7/26 社会を明るくする運動標語入選表彰式

令和4年度「社会を明るくする運動」の標語募集で103点の中から、9作品が入選標語に選ばれました。

この日は、白糠小学校で表彰式が行われ、代表標語に選ばれた田中杏奈さん（5年）と、入選標語に選ばれた日野すみれさん（5年）、馬場美貴子さん（6年）に川島眞澄教育長から賞状と記念品が手渡されました。

代表標語は『気づいてよ 助けを求め SOS』。田中さんは「困っている人を助けられる人が増えてほしい」と話していました。

※入選標語は20頁に掲載しています。



（左から）賞状と記念品を手にする日野さん、田中さん、馬場さん



「パートナーを思いやる気持ちが大事」と岩室さん

TOPIC 2 性と生について理解を深める

7/21 白糠高校「思春期保健講座」

白糠高等学校で思春期保健講座「自分で決めよう性と生」が開催され、全校生徒67人が性感染症や避妊方法などについて理解を深めました。

講師を務めた「オフィスいわむろ」の岩室紳也代表は、具体的な避妊方法や性感染症の予防、新型コロナウイルス感染症などについて講演し「相手の気持ちを考えた行動をしてほしい。また、性に関する悩みは恥ずかしいことではないので、困ったことがあれば家族や友人に相談してください」と話していました。



表彰を受けた谷口さん（左）と川島教育長

TOPIC 6 長年にわたって 町の教育行政に貢献

8/1 谷口修さん全国表彰伝達式

長年にわたって町の教育行政に貢献したとして、前町教育委員の谷口修さんが全国市町村教育委員会連合会の功労者表彰を受けました。

この日、役場で伝達式が行われ、川島眞澄教育長が谷口さんに表彰状を手渡しました。谷口さんは、平成8年から令和3年までの25年間、教育委員を務められました。谷口さんは「教育から離れるということではなく、25年のノウハウを持っていますので、これからは何かあれば役に立ちたい」と話していました。

TOPIC 3 ふっくらおいしい パンの作り方を学ぶ

7/22 公民館講座「パンづくり講座」

町教育委員会主催の「パンづくり講座」が社会福祉センターで開かれ、参加した4人がチェダーチーズをトッピングしたパンの「トレスチェダー」と「ココナッツミルクプリン」の2品を作りました。

参加者は、製菓衛生士の山本若恵さんの指導で、ふっくら仕上がるパン生地の作り方などを学びました。パンを作るのが好きで参加したという及川明穂さんは「パン生地を編むのが複雑でしたが、うまくできました」と笑顔で話していました。



「イーストフードを使うと食感がもちもちする」と山本さん（右）